

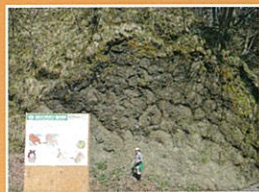
断層見学公園 フォッサマグナパーク

東西日本の境界を見にいこう

フォッサマグナパークでは、日本を東西に分ける大断層「糸魚川-静岡構造線」が見学できます。



糸魚川-静岡構造線 断層露頭



枕状溶岩

2018年8月
リニューアルオープン



フォッサマグナ
ミュージアムから
駐車場まで車で約10分
そこから断層まで
歩いて10分

仁王堂

下根知農村公園駐車場

西日本

フォッサマグナの土台をつくる石

東日本

フォッサマグナをうめる石

フォッサマグナ Fossa Magna

フォッサマグナは、「大きな溝」という意味の地質の溝のことです。明治時代にドイツ人のナウマン博士が発見し、命名しました。日本を横断する帯状の地域で、その西の境界断層が「糸魚川-静岡構造線」です。



フォッサマグナミュージアム



入館料 一般:500円(団体400円)
高校生以下:無料
障がい者:無料

共通券 フォッサマグナミュージアム+
長者ヶ原考古館
一般:600円(団体500円)
高校生以下:無料
障がい者:無料

〒941-0056 新潟県糸魚川市
大字一ノ宮1313(美山公園内)
TEL.025-553-1880
FAX.025-553-1881

【開館時間】
午前9時~午後4時30分受付終了
(午後5時閉館)

【休館日】
12月から翌年2月の月曜日・祝日の翌日
年末年始(12/28~1/4)

【化石の谷】
3億年前の化石の採集体験ができます
※別途体験料が必要です
※小学生は保護者と一緒にでないと
利用できません
※荒天の場合は閉鎖することがあります
※積雪期は閉鎖します

長者ヶ原考古館



【交通】
●フォッサマグナミュージアムから徒歩5分

入館料 一般:300円(団体200円)
高校生以下:無料
障がい者:無料

〒941-0056 新潟県糸魚川市
大字一ノ宮1383(美山公園内)
TEL.025-553-1900
FAX.025-553-1986

【開館時間】
午前9時~午後4時30分

【休館日】
12月から翌年2月の月曜日・祝日の翌日
年末年始(12/28~1/4)
※長者ヶ原遺跡公園冬季閉園(12月~3月)



【交通】
●北陸新幹線・JR大糸線・日本海ひすいライン
糸魚川駅下車 タクシーもしくは
「美山公園・博物館」行きバス乗車で10分
●北陸自動車道 糸魚川ICより車で10分

<http://www.city.itoigawa.lg.jp/fmm/>

E-mail museum@city.itoigawa.lg.jp



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Itoigawa
UNESCO
Global Geopark

日本の国石
ヒスイ

糸魚川

フォッサマグナ ミュージアム



ヒスイとフォッサマグナのことが
楽しく学べる博物館

日本列島の出現は 大地の鼓動を感じる壮大なドラマ。

フォッサマグナミュージアムは地球の誕生からさまざまな鉱物、フォッサマグナ、ヒスイ、そしてフォッサマグナの発見者ナウマン博士の資料などを展示しています。



■黄鉄鉱(スペイン)
金色に輝くサイコロのような六面体の結晶です。



■あられ石
あられ石の標本として第一級のものです。



■シーラカンス(ブラジル)
中生代白亜紀のシーラカンスの化石。アフリカで発見されるまで白亜紀以降滅びたと考えられていました。



■焼山の火砕流堆積物
活火山として知られている焼山。平安時代に焼山から噴出した火砕流を特殊な技法でそのまま展示しました。



■日本地質学の父 ナウマン博士
フォッサマグナの発見者ナウマンの生涯を紹介したドイツの家のような展示コーナーです。



■魅惑の化石
日本国内や世界の色々な化石が時代別に展示されています。日本の名前がついた奇妙な形のアンモナイトのニッポニテスは必見です。



■ウィーヘルト型地震計
約90年前に製造された日本で2台しかない地震計です。



■サマカイトの石琴
石の音とは思えない音色で、糸魚川にゆかりのある相馬御風の「春よこい」などの名曲を奏でます。



■ウンコの化石(アメリカ)
中生代白亜紀の草食性の恐竜のウンコ化石です。

フォッサマグナ ミュージアム



■フォッサマグナシアター
床と壁が一体となった大型ディスプレイで、日本列島やフォッサマグナの成り立ちをダイナミックに体感できます。

フォッサマグナミュージアム 案内図



- 1 プロローグ/ヒスイ峡
- 2 第1展示室/魅惑のヒスイ
- 3 第2展示室/糸魚川大陸時代
- 4 第3展示室/誕生日本列島 フォッサマグナシアター
日本地質学の父 ナウマン博士
- 5 第4展示室/変わりゆく大地
- 6 第5展示室/魅惑の化石
- 7 第6展示室/魅惑の鉱物
- 8 石の庭
- 9 休憩コーナー
- 10 ショップ
- 11 ホール
- 12 研修室兼企画展示室
- 13 ジオパーク情報コーナー



■小滝川ヒスイ峡
日本で最初にヒスイが発見されたヒスイの産地です。清流の中にヒスイの原石を見ることができます。(ヒスイの採取はできません。)

糸魚川地域は日本最大のヒスイ産地で、縄文時代前期から始まるヒスイ文化は世界最古のヒスイ文化であり、日本人と宝石の最初の出逢いでした。

糸魚川のヒスイは日本全国に広がり、人々のかかわり、宝石としての質と量、どれをとっても日本の代表的宝石といえます。

2016(平成28)年9月、ヒスイは日本の国石になりました。

世界最古の ヒスイ文化



■ヒスイ原石
重さ4.6tのヒスイ原石です。ヒスイの色には、白、緑、紫、青、黒などの色があります。



かわせみ 翡翠とヒスイ

ヒスイは漢字で翡翠と書きます。また、カワセミとも読みます。なぜ、鳥の名前が石につけられたのでしょうか？カワセミは背中が緑、腹が赤色をしています。カワセミの背と腹に似ていることから翡翠玉と名づけられ、いつしか玉が取れて翡翠と呼ばれるようになりました。赤いヒスイはマンマーで見られます。

